

CNJ Speakers

Know(≠No)More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.
08

Special Talk ～都啓一 × 久宝留理子 対談
CNJ News / CNJ Report
海外がん医療 TOPICS

もう一度

ステージに立ちたい

久宝 留理子

シンガーソングライター。1990年にメジャーデビュー。9枚目のシングル「男」が50万枚を超えるヒットとなり、大ブレイク。日本を代表する女性シンガーとして、その歌唱力は高い評価を受けている。現在は歌詞や楽曲提供なども行っている。2010年に夫である都氏に血液がんが発覚。その闘病をそばで支える。一男一女の母。

夫婦で乗り越えたがん

都 啓一

キーボーディスト・作曲家・音楽プロデューサー。1995年、SOPHIAのキーボーディストとしてメジャーデビュー。2010年、SOPHIAのデビュー15周年記念の全国ツアー直前、38歳のときに、「濾胞性リンパ腫」（ステージⅣ）が発覚。半年間の抗がん剤治療後、寛解との診断を受ける。現在は音楽活動の傍ら、がん啓発活動も行っている。

血液がんの一種「濾胞性（ろほうせい）リンパ腫」を乗り越え、音楽活動の傍ら、

夫婦でがん啓発活動に携わるキーボーディスト・都啓一さんと、妻のシンガーソングライター・久宝留理子さん。NPO法人がんサーネットジャパン（以下、CNI）のイベントやセミナーにもご協力いただいています。お二人に、がんを経験して感じることや子どもへの伝え方、支える側の思いなどを伺いました。

突然のステージⅣのがん告知

守りたかったのは子どもの笑顔

— 病気がわかったときの心境は？

久宝 一言で言うとう、崖から突き落とされる思いでした。がんって身近にあるようになかなかないですよ。一時は目の前が真っ暗になりましたが、この4年間で、多くの方ががんと闘っていることを知り、たくさん元気をもらいました。

都 濾胞性リンパ腫のステージⅣと診断を受けましたが、半年間の抗がん剤治療を終え、今は寛解と診断されています。がんを経験したことで、いい意味で死をリアルに感じるようになり、やりたいことを先延ばしにすることはなくなりました。

— お子さんへの説明は？

都 長男は小学2年生、長女は幼稚園年中とまだ幼かったので、詳しい説明はしませんでした。治療に入る前に夫婦で、「風邪の

ように簡単に治る病気ではなくて少し時間がかかること、強いお薬を使うから髪も抜けてしまうんだよ」ということは伝えました。

久宝 やはり抗がん剤の副作用で容姿が変わってしまうので、黙っているのは違うなと思ってたんです。髪が抜け始めたときは、お相撲さんの断髪式のように、子どもたちと一緒にリビングで夫の髪をバリカンで剃ってスキンヘッドにしました。

— 闘病を支えながらの子育ては？

久宝 とにかく、子どもから笑顔を奪わないようにしようという気持ちでいっぱいでした。なので、なるべく生活が変わらないように、普通に幼稚園や小学校に行かせてあげたいと思ったし、子どもの前では常に平常心を心掛けました。それでも、子どもなりに感じることはあったようで、長男は

チック障害が出たことも。担任の先生は私たちのことをご存知だったので、みんなで見守ってもらいました。

—治療を支える側のつらさ

久宝 私のデビュー20周年で、復帰しようという矢先に夫の病気がわかりました。ライブが2本ほど決まっていた、中止するか悩みましたが、夫も「やったら」と後押ししてくれたのでやることにしました。それがすごくよかったなと思うんです。あおときに立ち止まっていたら、もしかしたらうつ病になっていたかもしれない。歌を歌うことで随分救われたし、私の歌を待つてく

れている人がたくさんいることに気付いて、ファンの方にすごく元気をもらいました。

—奥様の背中を押したのはどんな思いで？

都 がんが発覚して、本人は病気を治すという1点の目標に向かって進めばいいだけですが、支える側は、家のことや子どものこと、お金のことなど、いろいろな問題を抱えていて、それを本人に心配をかけずにやろうとしますよね。支える側には、患者本人とは違うつらさがあると思うんです。そんなとき、自分がこれまでやってきたことや、やりたいことをすることで、気分を変えられるだろうし、少し忘れてリフレッ

支える側には別のつらさが…

妻にはやりたい事を諦めてほしくなかった



シユできますよね。それに僕の病気のせいで、やりたいことを諦めてほしくなかった

ので、ライブを開催することを勧めました。

久宝 当時、私が仕事できたのは、義理の両親など周りの手助けがあったから。ご飯を作ってくれたり、子どもの面倒をみてくれたり、ファミリーが丸となって乗り切りました。今でもそのときの流れが続いていて、いろいろ助けてもらっています（笑）。

—闘病中の支えは？

都 家族はもちろん、ファンの支えも大きかったです。毎日たくさんファンレターや折り鶴が届いて有難かったです。治療中は、「ステージに戻る」ことが夢だったし、その想いがあったからがんばれました。

—患者さんへのメッセージ

都 まずは一つずつ、焦らず、治すという夢を叶え、元気になったら、自分の本当にやりたい夢を叶えてほしいです。僕は今、

生きていることが本当に楽しいです！

—患者家族へのメッセージ

久宝 支える側は、本人とは別の闇の中にいます。相手がどうなるかわからない不安に押しつぶされそうになることも。そんなときは、同じ立場の人と話をすることが一番救われます。あと、治療中に相手が「わ〜」とパニックになったり、投げやりになるときがありますが、そんなときは「はいはい」と受け流すのが一番です。本人は治療がものすごくつらくて嘆きたいわけだから。真面目に付き合っていたら自分が潰れてしまう。うまく受け流して、支える側が潰れないようにしましょう。そして自信を持って、ご家族を支えてあげてほしいです。

都 がん啓発活動はこれからも夫婦で続けていきます。私たちの想いを伝えられる場があることに感謝をしています。



2015年ブルーリボンキャンペーン	
2月8日(日)	熊本・JCHO 人吉医療センター
3月14日(土)	東京・東京医科歯科大学 M&D タワー 鈴木章夫記念講堂
申し込みは、CNJ サイト・特設サイトで受付中。 この他にも 2015 年ブルーリボンキャンペーンは現在準備中。 特設サイトでも決まり次第発表していきます！	



▲左上段、板橋道朗先生、佐藤太郎先生、石黒めぐみ先生
左下段より、杉原健一先生、室圭先生、CNJ スタッフ

◀12月16日のWEBカンファレンスは「2014年の大腸がん治療の振り返り・2015年の動向」がテーマ。今回放送した内容は、特設サイトで視聴いただけます。

「ブルーリボンキャンペーン」
今年も大腸がんの正しい情報を発信！
メディカルスタッフのサポートメンバーも募集

ブルーリボンキャンペーンでは、大腸がんを診断された患者さんが、正しい大腸がんの治療方法を知り、自分の意思で治療方法を選択し、納得のうえ、その治療を受けられる環境整備を目指しています。5年目を迎えたブルーリボンキャンペーンでは、全国47都道府県の大腸がん医師のアンバサダー（大使）100名と共に更に啓発活動を拡大します。2015年は新たに、看護師や、薬剤師などメディカルスタッフのサポートメンバーも募ります。主に、全国各地でのセミナー開催や、WEBサイトでのセミナー動画や体験談の動画配信、メルマガ配信、Facebookでの日々の情報発信など、大腸がん向き合う患者さん、ご家族に有益な情報発信に努めていきます。

特設サイト <http://www.cancernet.jp/brc/>



▲ペリウインクルリボン啓発パッチ（タイタイプ）1,000円で新発売です。胃がん特設サイトで購入できます

胃がんの冊子も完成し、啓発リボンパッチの発売も開始しますので、是非お手に取って見てください。



▶「もっと知ってほしい胃がんのこと」冊子発刊。これから全国のがん診療連携拠点病院に配布予定。直接手に取りたい方は1/11(日)横浜のセミナーでは来場者のみに無料配布します！

全国的に死亡率は減少傾向ですが、罹患者はいまだ最も多い胃がん。今年も胃がんの情報発信に注力し患者さんご家族に対する疾患・治療啓発プログラム「もっと知ってほしい胃がんのこと2015」として市民講座を3都市で開催予定です。第1弾は1月11日(日)に横浜情報文化センター情文ホールにて開催し、神奈川県内の専門医より、内視鏡治療、外科的手術薬物療法等について解説いただき、後半はQ&Aやサバイバーのトーク&ミニライブもあります。

また、春からは、科学的根拠に基づく胃がん医療を推進する「ペリウインクルリボン・アンバサダー・プロジェクト」もキックオフ。ペリウインクルは胃がんの啓発カラーです。各地で胃がん診療にかかわる医療者を「胃がんアンバサダー（大使）」と任命し、患者がどこにいても自らの意思で治療方法を選択し納得の上、治療を受けられる医療環境の実現を目指します。ほかに、新しく

特設サイト <http://www.cancernet.jp/gastriccancer/>

2013年11月	バンコク	第1回国際アジアがん看護学会
<ul style="list-style-type: none"> 「Breast Cancer Survivors as Peer Supporter Recognition of the Meaning of "the space of peer supporters for cancer patients"」ポスター発表 「[Difficulty of Cancer Survivors' Peer Support Activities]」ポスター発表 		
2014年6月	神戸	第19回日本緩和医療学会学術大会
<ul style="list-style-type: none"> 「ピアサポーターの来訪者への関わり方とピアサポートを継続していくために心がけていること」ポスター発表 		
2014年6月	神戸	第19回日本緩和医療学会学術大会
<ul style="list-style-type: none"> 「がん診療連携拠点病院でのピアサポート普及の課題」ポスター発表 		
2014年9月	パナマ	第18回国際がん看護学会
<ul style="list-style-type: none"> 「[Motivation for Breast Cancer Survivors to Continue Peer Supporters]」ポスター発表 		
2015年2月	横浜	第29回日本がん看護学会学術集会
<ul style="list-style-type: none"> 「ピアサポートを受けた乳がん患者が捉えたピアサポートの評価」ポスター発表予定 		
2015年4月	オーランド	第40回アメリカがん看護学会
<ul style="list-style-type: none"> 「[Feelings of difficulty experienced by Breast cancer patients in the treatment process and perceptions of interactions with Breast cancer survivors in Japan]」ポスター発表予定 		

CANCER SURVIVORS PEER SUPPORTERS
ピアサポーター事業の成果を学会に発信しています！

2010年から「かながわボランティア活動推進基金21」を活用し、神奈川県がん対策課との協働事業として実施しているピアサポーター事業は、現在5年目を迎えています。CNJでは、国立看護大学校准教授の山手美和先生にご協力いただき、ピアサポーターへのインタビューや、ピアサポートを受けた患者さんと受けない患者さんの差異などについて研究し、ピアサポーターに関する研究を実施、学会等に発表しています。



緩和医療学会でポスター発表中のCNJの川上



国際学会でポスター発表を控えた山手美和先生

日本放射線腫瘍学会第27回学術大会 がん患者・支援者／がん患者団体・支援団体に対する ペイシエント・アドボケイト・プログラム

2014年12月11日～13日にパシフィコ横浜会議センター・展示ホールで日本放射線腫瘍学会（以下、JASTRO）第27回学術大会が開催されました。大会を務められた早川和重先生（北里大学医学部放射線科学 放射線腫瘍学 教授）は、JASTRO学術大会では初めてとなる、ペイシエント・アドボケイト・プログラム（以下、PAP）を導入されました。CNJでは、本企画の運営等をお手伝いさせていただきま

した。
内容は、1. 参加費の優待 2. 特別ランチオンセミナー3. 最新機器展示ツアーで、がん患者支援に携わる方を対象に募集し、2日間にわたり42名の方が参



▲機器展示ツアーでは、会期中、展示ブースに出展された4社（順不同：株式会社バリアン メディカルシステムズ、エレクタ株式会社、株式会社日立メディコ、日本アクレイ株式会社）の協力により、最新の治療機器の展示実機をPAP参加者が見学し、各社より最新機器の特長などについて説明を受けました



▼参加者からの質問に自ら答える大会長の早川和重先生
心豊かに過ごす」が開催され、会場が一体となる素晴らしい講演でした。

ランチョンセミナー1日目は、佐々木治一郎先生（北里大学病院集学的がん診療センター長、新世紀医療開発センター1教授）による「がん治療における薬の話・抗がん化学療法、分子標的薬の現状と今後」、2日目は大会長の早川和重先生による「治療力を高めるには…

加されました。遠方は福岡からもご参加いただき、参加された皆さんは、最新の放射線治療の知識を学ばれていました。今後、各地域でのがん対策や患者支援に活用していただけることと思

参加者
42名
ありがとうございました

What We Can Do Now もつと知ってほしい小児がん・AYA世代のがんのこと in 大阪

9月28日に、大阪（ブリーゼプラザ）で開催。当日は、西村麻子さん（毎日放送アナウンサー）の司会で始まり、各専門医師と体験者にご登壇いただきました。また、Q&Aトークセッションとミニコンサートやレモネードスタンドも開催。当日演奏をした近畿大学附属高等学校吹奏楽部の学生さんからは、「講演を聞かせて頂いて命について深く考えることが出来ました。大変心に響く講演をありがとうございました。それと同時に近高吹奏楽部の目標でもある音楽を届ける演奏というのを改めて考え、演奏することが出来ました。ありがとうございました」と感想をいただきました。



参加者
137名
ありがとうございました
▲左から／西村麻子さん、楠木重範先生、レモネードスタンドお手伝いのスタッフさん、ウィリアムエダメネゼスさん、三木恒治先生、内賀嶋仁美さん

9/28 小児がんセミナーへご協力をありがとうございました！（※動画公開中）			
がんになっても笑顔で育つ 楠木 重範先生 チャイルド・ケモ・クリニック 院長	若い人に多い精巣腫瘍 三木 恒治先生 京都府立医科大学大学院 泌尿器科	ハーフの僕が 白血病になって ウィリアム エダメネゼスさん 急性リンパ性白血病経験者	失ったものと得たもの そして誇り 内賀嶋 仁美さん 原始神経外胚葉性腫瘍（PNET）経験者

過去セミナーを視聴→「小児がん」で検索 <http://www.cancerchannel.jp>

肺がん疾患治療啓発キャンペーン もっと知ってほしい 肺がんのこと2014 in 広島 名古屋 仙台

合計参加者
674名

ありがとうございました

6月29日広島(司会:広島がんサポート中川けいさん)、9月20日名古屋(司会:フリースペース小林美幸さん)、11月8日仙台(司会:織原聖月さん)で肺がんセミナーを開催。肺がんの概要・外科治療・放射線治療・薬物療法を各専門医師に分かりやすく説明いただきました。

また、さとう宗幸さんのミニコンサートもあり、来場者からは、「いろいろな治療法を順番に聞くことができ、頭の中が整理できた気がする。お医者さんが市民のためにわかりやすく説明してくださる努力を感じた。ありがたいです。さとう宗幸さん

のミニコンサート、こんなにもステキな歌声とは思いませんでした。聞けてよかったです。今日のセミナーとともに記憶に残ると思います」「なかなか聞けない先生方のお話を伺うことができ、大変勉強になりました。家族(患者)に役立てることができるよう資料をもう一度じっくり目を通してみたいです。ありがとうございました」と感想をいただきました。



6/29 広島セミナー登壇者
◀上段左から/
藤高一慶先生 広島大学病院 呼吸器内科
岡田守人先生 広島大学病院 呼吸器外科
岩本康男先生 広島市民病院 腫瘍内科
下段左から/
永田靖先生 広島大学病院 放射線治療科
さとう宗幸さん・中川けいさん



9/20 名古屋セミナー登壇者
◀上段左から/
岡田徹先生 名古屋大学医学部 放射線医学教室
長谷川好規先生 名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科
樋田豊明先生 愛知県がんセンター 呼吸器内科
澤祥幸先生 岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科
下段左から/さとう宗幸さん・小林美幸さん
横井香平先生 名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科



▼各セミナーでは、さとう宗幸さんのミニコンサートを開催し好評でした



▲11/8 仙台セミナー登壇者/左から
菅原俊一先生 仙台厚生病院 呼吸器内科
高橋里美先生 宮城県立がんセンター 呼吸器外科
近藤丘先生 東北大学病院 呼吸器外科・さとう宗幸さん
一ノ瀬正和先生 東北大学病院 呼吸器内科
神宮啓一先生 東北大学病院 放射線治療科
折原聖月さん

※特設サイトでは、今後のセミナー及び過去の動画も視聴できます→

<http://www.cancernet.jp/lungcancer/>

ナース専科×キャンサーネットジャパン 看護師を対象としたタイアップセミナー もっと知ってほしいがんのケア for Nurse 2014

CNJは看護師向けメディア「ナース専科」(株式会社エス・エム・エス)とタイアップし、看護師を対象としたセミナー「もっと知ってほしいがんのケア for Nurse」を開催しました。

第1回となる10月11日は「がん患者のセルフケア」(講師:湘南記念病院かまくら乳がんセンター・土井卓子先生、上智大学総合人間科学部看護学科・渡邊知映先生、美容ジャーナリスト/乳がん体験者・山崎多賀子さん)、第2回(11月8日)は疼痛

マネジメントを主とした「緩和ケア」をテーマに開催(講師:昭和大学病院緩和ケアセンター・樋口比登実先生、(株)緩和ケアパ

合計参加者
約140名

ありがとうございました



10/11 もっと知ってほしいがん患者のセルフケアセミナー登壇者

▲左から/
土井卓子先生、渡邊知映先生、山崎多賀子さん



11/8 もっと知ってほしい緩和ケアセミナー登壇者
▲上段左から/
阿南里恵さん、梅田恵先生、樋口比登実先生



12/13 もっと知ってほしいがんの薬物療法とその副作用マネジメントセミナー登壇者
▲上段左から/
室圭先生、山本悦秀先生、春藤紫乃先生



3回で140名を超える看護師の方々に参加いただきました。「一番身近な医療職として何が出来るか」を日々追求する看護師の方々に役立つ情報、そしてがん経験者の思いを伝え、より良い看護につなげていただく機会を今後も提供していきます。

前立腺がん患者・家族のための公開講座
もっと知ってほしい
前立腺がんのこと 2014 in 東京

9月20日に東京（秋葉原UDX）で開催。当日は前立腺がんについて、各専門医師に分かりやすくご説明いただきました。また、Q&Aトークセッションや、セミナー終了後は前立腺がん患者・家族の皆さんで交流・情報交換を目的に参加者懇親会も開催。参加者から「家族の立場でセミナーに参加しました。半月前に前立腺がんの告知を受け、治療に入った家族を支える上で、今回のセミナーは大変勉強になりました。先生方のお話もとてもわかりやすかったです。また、体験者の方のお話からも前立腺がん患者の方の気持ちになってお話を伺うことができました。ありがとうございました。」と感想をいただきました。

本セミナーは、キャンサーチャンネル及びビデオライブラリーでも公開中。
(<http://www.cancerchannel.jp/video>)



参加者
140名

ありがとうございました

▲左から/秋元哲夫先生
武内務さん
赤倉功一郎先生

9/20 前立腺がんセミナーへご協力をありがとうございました！（※動画公開中）

前立腺がんの 外科治療と薬物療法 赤倉 功一郎先生 JCHO 東京新宿 メディカルセンター 泌尿器科	前立腺がんの放射線治療 ~IMRT、粒子線治療、小線源治療 秋元 哲夫先生 国立がん研究センター東病院 臨床 開発センター粒子線医学開発分野 放射線治療科	前立腺がん 体験者どうして繋がろう！ 武内 務さん 前立腺がん体験者
--	---	---

ありがとうございました

参加者
115名



▲上段/渡邊古志郎先生 ▲左上から/堀之内秀仁先生、福井朋也先生、二瓶圭二先生、横山琢磨先生、▲左下から/細井幸生先生、滝口裕一先生、岡本浩明先生、川上祥子（CNJ）

9/6 肺がん市民公開講座へご協力をありがとうございました！

（※動画公開中/キャンサーチャンネル <http://www.cancerchannel.jp/>）

第一部 肺がんについて	講演① 肺がんの放射線治療 講演② 肺がんの抗がん剤治療 細胞障害性抗がん剤 講演③ 肺がんの抗がん剤治療 分子標的薬
第一部 臨床試験について	講演① 期待される治療 講演② 新しい治療が受けられるようになるまで
第三部/質疑応答	

肺がん市民公開講座
もっと知ってほしい肺がんのこと
「自分らしく」過ごすために

9月6日に、東京（秋葉原UDX）でNPO法人胸部腫瘍臨床研究機構と共催。当日は、9名の登壇者を迎え、「肺がんについて」「臨床試験について」「質疑応答」の三部構成で各専門医師より講義いただきました。また、参加者からは、「たくさんの先生方の講演が聞けてよかったです。初めての参加でしたが、またこのような講演があったらぜひ参加したいです。千葉方面でもお願いします。質疑応答の時間、とても丁寧でよかったです。新しい薬の情報も良かったです」と感想をいただきました。

アピタルがん夜間学校
もっと知ってほしい
がん分子標的薬のこと
がん脱毛・皮膚のこと
がんと感染症のこと

毎月第3水曜に東京（秋葉原UDX）で開催しているアピタルがん夜間学校。9月17日は「がん分子標的薬のこと」、10月15日は「がん脱毛・皮膚のこと」、11月19日は「がん感染症のこと」を開催。各セミナーの様子は、朝日新聞医療サイト「アピタル」のアピタル夜間学校、キャンサーチャンネルで動画公開をしています。この機会にぜひご視聴ください。



合計参加者
201名

ありがとうございました



荒岡秀樹先生
講演では「がん患者は感染症になりやすいので手洗いなど予防にも気をつけて」とアドバイスも



山崎直也先生
講演では「新しい薬剤の登場とともに様々な皮膚症状をコントロールし、がん治療をうまく続けていくことが必要」とも



照井康仁先生
講演では「分子標的薬の作用は薬剤により特徴的であって、従来の抗がん剤よりもやさしいと考えてください」とも

9月～11月開催：アピタルがん夜間学校へご協力をありがとうございました！

もっと知ってほしい がん感染症のこと 荒岡 秀樹先生 虎の門病院 臨床感染症部	もっと知ってほしい がん脱毛・皮膚のこと 山崎 直也先生 国立がん研究センター 皮膚腫瘍科	もっと知ってほしい がん分子標的薬のこと 照井 康仁先生 がん研有明病院 がん化学療法センター・血液腫瘍科
--	--	--

キャンサーチャンネルでも動画公開中→ <http://www.cancerchannel.jp/>

参加者
67名

ありがとうございました



▲左から／和嶋直紀先生、坂田優先生
吉田茂昭先生、今泉清保さん
花畑憲洋先生、松坂方士先生

10月4日に青森（アピオあおもり）で開催。当日は今泉清保さん（青森テレビ ニュースワイドキャスター）の司会で始まり、胃がんの疫学・診断・外科治療・薬物療法について、各専門医師に分かりやすくご説明いただきました。また、参加者から事前にいただいた質問に答えるQ&Aトークセッションを開催。

参加者から「がんは恐ろしいものと思っていました。頼もしい先生方の存在に明るい未来が見えました」と感想をいただきました。

胃がん疾患治療啓発キャンペーン
もっと知ってほしい
胃がんのこと 2014 in 青森



10/4 胃がんセミナーへご協力をありがとうございました！（※動画公開中）

開会挨拶 座長：吉田 茂昭先生 青森県立中央病院 病院長	胃がんの疫学～なりやすさと なりにくさ（青森県の特性を含めて） 松坂 方士先生 弘前大学大学院医学 研究科 地域がん疫学講座	胃がんの内視鏡的診断・ 治療の最先端 花畑 憲洋先生 青森県立中央病院 消化器内科	胃がんの外科療法 ～開腹手術と腹腔鏡手術 和嶋 直紀先生 弘前大学大学院 医学研究科 消化器外科	胃がんの薬物療法 ～抗がん剤の進歩と最新の治療戦略 坂田 優先生 三沢市立三沢病院 事業管理者 病院長兼務
---------------------------------------	--	---	--	---

特設サイト <http://www.cancernet.jp/gastriccancer/>

参加者
187名

ありがとうございました



▲左上から／山本悦秀先生、金澤旭宣先生、
佐藤太郎先生、杉本直俊先生
左下から／高井美紀さん、板橋道朗先生、石黒めぐみ先生

10月23日に大阪（ブリーゼプラザ）で開催。当日は、高井美紀さん（毎日放送アナウンサー）の司会で始まり、各専門医師より大腸がんの検査・診断、また外科的治療・薬物療法について講義いただきました。また、参加者から事前にいただいた質問に答えるQ&Aトークセッションを開催。

患者さんから「とても勉強になりました。わかりやすく治療法が聞けました。がん体験の先生の話には共感しました。一緒に頑張ろうと思いました。いちむじんの演奏素敵でした。佐藤先生の患者さんが良くなりますように」と感想をいただきました。

ブルーリボンキャラバン2014
もっと知ってほしい
「大腸がん」のこと in 大阪

10/23 大腸がんセミナーへご協力をありがとうございました！（※動画公開中）

大腸がん体験談 山本 悦秀先生 金沢大学 名誉教授 城南歯科医院 理事長	大腸がん／大腸ポリープ の診断・検査の実際 石黒 めぐみ先生 東京医科歯科大学大学院 腫瘍外科学	大腸がんの外科的治療と その後の生活 板橋 道朗先生 東京女子医科大学 第二外科	大腸がんの薬物療法 （抗がん剤・分子標的治療） 佐藤 太郎先生 大阪大学医学部附属病院 消化器外科学	Q&A パネルディスカッション 金澤 旭宣先生 田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター 杉本直俊先生 大阪府立成人病センター 臨床腫瘍科
---	--	---	--	---

特設サイト <http://www.cancernet.jp/brc/>



参加者
83名

ありがとうございました

▲上左から／
北田なみ紀さん
井上法子さん
大瀧江美子さん

10月28日に大阪（MBS本社1階ちゃやまちプラザステージ）でセミナーを開催。当日は、相談支援センターの役割や、がん治療と家族のサポートをテーマにしたトークセッション、さらに濾胞性リンパ腫をご経験の都啓一さん・妻の久宝留理子さんをゲストにお迎えし、体験談やミニライブも開催されました。

来場者からは「父が都さんと同じ病気で治療中です。都さんの治療中のお話を聴けて、とても励みになりました。父も夜眠れないことが多いようなので、気分転換させてあげたい、今私ができるサポートをしてあげたいと思いました」と感想をいただきました。

MBS × CNJ Jump Over Cancer 第四回
もっと知ってほしいがんのこと
がん治療と家族のサポート

10/28 Jump Over Cancer へご協力をありがとうございました！（※動画公開中）

トークセッション 都 啓一さん キーホーディスト・作曲家・音楽プロデューサー 久宝 留理子さん シンガーソングライター	トークセッション 井上 法子さん 大阪市立総合医療センター 患者支援センターがん相談支援センター がん専門相談員（看護師）	トークセッション 大瀧 江美子 さん 大阪市立総合医療センター 患者支援センター 医療ソーシャルワーカー	トークセッション 北田 なみ紀さん 大阪市立総合医療センター 患者支援センター主査 がん専門看護師	司会 上田 悦子さん 毎日放送（MBS） アナウンサー
---	---	--	---	--------------------------------------

過去セミナーを視聴 → <http://www.cancernet.jp/mbscnj/postvideos>

各イベント・お申し込みは 

CNJ Event Schedule

1/21
(水)
・
2/18
(水)
・
3/18
(水)
東京

アピタル夜間学校シリーズ
アピタルがん夜間学校

参加費／無料
時 間／19:30～21:00
場 所／秋葉原UDX 4階シアター
(東京都千代田区外神田 4-14-1)

1月21日(水) もっと知ってほしい **がんと糖尿病**のこと
講師：船橋市立医療センター 代謝内科 岩岡 秀明
2月18日(水) もっと知ってほしい **がんと痛み**のこと
講師：がん研究会有明病院 緩和ケアセンター 服部 政治
3月18日(水) もっと知ってほしい **がんと在宅医療**のこと
講師：医療法人社団悠翔会 佐々木 淳

特設サイト／ <http://www.cancernet.jp/event/apitalcancer>

毎月第3水曜日秋葉原UDXにて
『アピタルがん夜間学校』開催中!

1/11
(日)
横浜

胃がん疾患治療啓発キャンペーン
もっと知ってほしい
「胃がん」のこと



開催日／1月11日(日) 参加費／無料
時 間／13:00～16:00
場 所／横浜情報文化センター 情文ホール
(横浜市中区日本大通 11 番地)

当日の登壇者紹介

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター	円谷 彰
北里大学医学部 新世紀医療開発センター	田邊 聡
聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科	福永 哲
横浜市立大学医学部 がん総合医科学	市川 靖史
カラーボール ボーカル/胃がん経験者	高橋 和奈
神奈川県立がんセンター 消化器外科	吉川 貴己

セミナーページ／ <http://www.cancernet.jp/14358>

2/8
(日)
人吉

BLUE RIBBON CARAVAN
もっと知ってほしい
「大腸がん」のこと



開催日／2月8日(日) 参加費／無料
時 間／13:00～15:00
場 所／JCHO 人吉医療センター 講堂 どうあん
(熊本県人吉市老神町 35 番地)

当日の講師紹介

JCHO 人吉医療センター 院長	木村 正美
熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学	馬場 秀夫
済生会熊本病院 腫瘍・糖尿病センター	境 健爾
相談支援センター	

特設サイト／ <http://www.cancernet.jp/brc>

1/25
(日)
東京

「ナース専科」タイアップセミナー【看護師向けセミナー】
もっと知ってほしい、**がんと漢方薬**のこと

- ・漢方薬ってなあに?
- ・がん臨床での漢方薬使用の実例と、看護師に期待すること
- ・漢方薬にがん患者が期待すること
- ・がん臨床での漢方薬活用のために看護師ができること

開催日／1月25日(日) 参加費／5,000円(税込)
時間／13:00～16:30 場所／エス・エム・エス本社 18階 セミナールーム
(東京都港区芝公園 2-11-1 住友不動産芝公園タワー)

お申し込みはナース専科・申し込みサイト／ <http://nurse-senka.jp/contents/seminar/209608/>

2/11
(水)
大阪

～私にとっての最適の治療とは?～
もっと知ってほしい**乳がん**のこと 2015 in 大阪

- 第一部～セミナー
 - ・乳がんの概要について
 - 【1】 ホルモン受容体陽性タイプ(ルミナルA・B)の乳がんについて
 - 【2】 HER2・トリプルネガティブタイプの乳がんについて
 - 【3】 乳房再建について
- 第二部～スモールミーティング
 - 各【1】【2】【3】のスモールミーティング

開催日／2月11日(水・祝) 参加費／無料 場所／大阪ガスビル 3階ホール
(大阪府中央区平野町) 時間／13:00～16:00 (スモールミーティング 16:15～17:00)

当日の登壇者紹介

大阪ガス株式会社	江本 雅朗
大阪府立成人病センター乳腺・内分泌外科	中山 貴寛
近畿大学医学部内科学講座 腫瘍内科部門	鶴谷 純司
大阪大学医学部附属病院 形成外科	矢野 健二

セミナーページ／ <http://www.cancernet.jp/15791>

過去のセミナーはチャンネルで視聴できます／ <http://www.cancerchannel.jp>

がん体験者によるピアサポート

家族や職場に
どう話したらいいの?

再発への
不安な気持ちを
話してみようかな..

がんと言われて
不安な気持ちを
誰かに聞いて
もらいたい..

※ピアサポートよこはま・相模原協同病院の実施日の変更があります。

開催場所日時	会場	開催日時	内容
	済生会横浜市南部病院 (横浜市港南区港南台 3-2-10)	毎週月・金曜 11時00分～16時00分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	横浜労災病院内 (横浜市港北区小机 3211)	毎週火曜 10時30分～15時00分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	ピアサポートよこはま (横浜市神奈川区台町 7-2-715)	毎週月・水・金曜 10時00分～14時30分	電話相談および面接相談 電話：045-313-1331
	相模原協同病院内 (相模原市緑区橋本 2-8-18)	第1・3水曜 / 2・4木曜 10時00分～15時30分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	横須賀共済病院内 (横須賀市米が浜通 1-16)	毎週木曜 10時00分～15時00分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	大和市立病院内 (大和市深見西 8-3-6)	毎週金曜 10時00分～14時30分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)



美恵ママ・乳がん基金

美恵ママ・乳がん基金は
チャイルド・ライフ・スペシャリスト
育成・普及のため、皆様から
のご支援をお待ちしております。

チャイルド・ライフ・スペシャリスト (CLS) とは、
病气 (小児がん等) の子どもと家族を精神的にサポートする専門家のことを言います。

詳しくは、特設サイトにてご確認ください。
<https://bokinchan2.com/cnj/miemama/bokin/page0.php>



小児がん・若年性がん支援
樋口宗孝がん研究基金
Munetaka Higuchi Foundation
for Cancer Awareness and Research

小児・若年者のがん罹患患者数は少なく、治療法の開発も、罹患患者数が多い大人のがんに比べ遅れていると言われてます。また、就学・就職・恋愛・結婚・出産など、大人のがんと異なる多くの問題にも直面しており、これらの現状について広く貫うための啓発活動、将来的には治療法の研究・開発に寄与を目的にします。

<http://www.cancernet.jp/mhf4car>



CNJ のもっとわかる出版物のはなし
<http://www.cancernet.jp/publish>
無料でダウンロードできます!



文化祭・自治会のお祭り・イベントなどで
**レモネードスタンドを
やりませんか?**

12/5にCNJで
第二回レモネードスタンド開催!

～小児がん、AYA世代のがん 啓発・研究推進プロジェクト～
Lemonadestand Japan
皆様のお陰で
8万1970円の
寄付が集まりました!

<http://www.lemonadestand.jp/>



丁寧なメンテナンス済み
完全リフォーム
ネットで注文
治療開始に間に合います

— 医療用ウィッグの新しい選び方 —
医療用かつらレンタル・デイリースを
ご利用いただいた患者さまが無事に治療を
終わられて、不要となったウィッグを
完全にリフォームしてご提供します。

ご提供
価格 **8,800円** (税込)
すく
つけたい
スタイルが
見れる
高品質な
かつらが
い

※詳細は、CNJのHPで発表します。

CancerChannel

患者・家族・支援者・医療者のための
新しいがん医療情報のカタチ。

映像×SNS
サイトの閲覧はすべて **無料**

がん医療セミナーやがん医療情報の映像を web* から配信。
スマートフォンやタブレットからも閲覧できます。(*Ustream・Youtube mediasite)

※スマートフォンやタブレットからのUstream、Youtube閲覧には専用のアプリのインストールが必要です。

<http://www.cancerchannel.jp>



会員 寄付 募集

NPO 法人がんネットワークジャパンは「患者擁護
の観点から、科学的根拠に基づくあらゆるがん医
療情報の発信とがん疾患啓発を行うこと」をミッ
ションとして活動する特定非営利活動法人です。

<http://www.cancernet.jp>

**このスペースに
広告を掲載しませんか?**

※広告の掲載のお申し込みは、以下の発刊月の1ヶ月前までにお願ひ致します。
4月・7月・10月・1月の年4回発刊します。

※広告の掲載スペースにより金額が変わります。詳しくはお問い合わせ下さい。

NPO 法人がんネットワークジャパン 季刊誌広告係まで / info@cancernet.jp